◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年11月12日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【5・6号機 増設淡水化装置の濃縮水出口電動弁および濃縮水戻り逆止弁のシート漏えい※について】 当直員が、5・6号機増設淡水化装置の前置ろ過器逆洗操作を行なった際、操作盤に「濃縮水安全弁一次側圧力高」警報が発生。 原因は、逆洗のため、濃縮水出口電動弁を全閉としたが、逆洗水が濃縮水出口電動弁および濃縮水戻り逆止弁のシート漏えいにより逆流し、濃縮水安全弁1次側圧力が上昇したものと推定。 今後、濃縮水出口電動弁および濃縮水戻り逆止弁の交換を行う。 濃縮水出口電動弁は、増設淡水化装置の運転中は開状態であり、運転機能には影響なし。</p> <p>※シート漏えい: 弁内部の隙間から配管内部に漏えいすること。</p>	GIII	11月9日
2	<p>【海水放射線モニタの監視端末の故障について】 11月5日、環境放射線監視システムに海水放射線モニタ伝送異常の警報が発生。当社社員が免震重要棟集中監視室および新事務本館執務室での海水放射線モニタの測定データの遠隔監視が出来ないこと、および当社ホームページに掲載している測定データ表示が欠測となったことを確認。 調査の結果、免震重要棟に設置している監視用端末機の故障が判明した。 その後、代替の端末機を設置し免震重要棟集中監視室のみ遠隔監視を可能とした。 11月9日に修理を行なった監視用端末機を起動し、システムを復旧し、当該警報の復帰、免震重要棟集中監視室および新事務本館執務室で遠隔監視が出来ること、並びにホームページ測定データの表示が復帰したことを確認。 海水の放射線測定は、毎日、港湾口の海水を採取し測定を実施しており、警報発生から復旧までの期間中においても異常がないことを確認した。</p>	GIII	11月5日